

第9回特別展

紫式部「源氏物語」と恵心僧都源信

Ⅱ上山・他界との接点Ⅱ

平成8年4月27日(土) ↓ 6月16日(日)



香芝市二上山博物館

NIJHOSAN MUSEUM KASHIBA-SITY

〒639-02 奈良県香芝市藤山1丁目17番17号

香芝市ふたかみ文化センター内

☎(07457)7-1700



きり絵 『源氏物語絵巻』「手習」
きり絵画家 山本秀数氏

平安時代、二上山の彼方に沈む落日によって浄土思想を確立した恵心僧都源信は、本市良福寺・狐井にその生誕地伝承があります。学校の教科書にも登場する源信が本市で誕生し、幼年期を過ごしたことはあまり知られていません。また、京都市と宇治市を二大舞台として、優雅と憂愁が織りなす王朝文化の華を咲かせた紫式部の長編小説『源氏物語』54帖のうち、宇治を舞台に繰り広げられた、いわゆる「宇治十帖」に“横川の僧都”として、源信が登場することも知られていません。

本特別展は、この浄土信仰の原点でもある恵心僧都源信の生涯を『源氏物語』を通じて考えてみます。また、その思想の原点となり、他界との接点といわれた二上山の古代信仰と浄土美術の展開についても紹介します。



特別展記念講演会

5月5日(日) 14:00~16:00

「『源氏物語』成立の背景とその形態」

関根賢司氏：樟蔭女子短期大学教授

会場：香芝市ふたかみ文化センター・市民ホール

5月12日(日) 14:00~16:00

「二上山の落陽一恵心僧都源信と浄土信仰一」

永井路子氏：作家

会場：香芝市ふたかみ文化センター・市民ホール

共催：香芝市二上山博物館友の会 ふたかみ史遊会

6月2日(日) 14:00~16:00

「説話にみる恵心僧都源信

一香芝と源信の関わり一」

小泉俊夫氏：香芝市文化財保護審議会長

会場：香芝市ふたかみ文化センター・第1~3会議室

講演終了後、ハイビジョン上映があります。

6月16日(日) 14:00~16:00

「平安時代の仏教史

一恵心僧都源信を中心として一」

吉田靖雄氏：大阪教育大学教授

会場：香芝市ふたかみ文化センター・市民ホール

講演終了後、ハイビジョン上映があります。

★いずれも申し込みは不要ですが、当日の観覧券が必要です。

●観覧料／一般…300円(250円) 高校・大学生…200円(150円) 小・中学生…150円(100円) ●()内は団体20名以上の料金。●常設展も観覧できます。

●開館時間／9:00AM~5:00PM(入館は4:30まで) ●休館日／月曜日

表面写真：木造恵心僧都源信坐像(阿日寺蔵)